

2010年度 高知県の景気

- ・ 2010年度の高知、前年度から大きく改善しリーマン・ショック前の水準を上回る
- ・ 規模別、すべての規模で改善したものの「大企業」の改善幅が伸び悩む
- ・ 東日本大震災の影響、水産業に直接被害が発生。原発事故による放射能汚染問題で農産物、観光への影響などが懸念材料

2010年度(2010年4月～2011年3月平均)の高知の景気DIは底堅い内需と新興国向けの輸出の増加などがけん引役となり、前年度比7.3ポイント増の34.8と改善した。2008年9月に起こったリーマン・ショックの影響などで景気が停滞した2008年度(24.8)から大幅に改善し、リーマン・ショック前(2007年度:29.7)の水準を上回った。

全国(2010年度:32.6)との比較では、高知が2.2ポイント上回り、四国(2010年度:32.8)との比較でも2.0ポイント上回った。しかし、全国の改善幅(2010年度:8.5ポイント)が高知を上回ったため、格差は前年(2009年度:3.4ポイント)より1.2ポイント縮小した。

要因としては、高知は内需関連企業の比率が全国より高いことが挙げられる。そのため、リーマン・ショックによる外需の急減の影響が全国に比べ少なかった半面、2010年度は外需の復調による景気回復の恩恵が少なく、改善幅は全国を下回った。

規模別では、「大企業」が35.7と前年度(2009年度:34.0)比で1.7ポイント増と小幅にとどまったのに対し、「中小企業」は同7.7ポイント増の34.7、「小規模企業」も同7.6ポイント増の33.0とともに大幅な改善となった。これにより「大企業」と「中小企業」の規模間格差(「大企業」-「中小企業」)は1.0ポイントとなり前年度の7.0ポイントから大幅に縮小した。

業界別では『製造』(前年度比9.8ポイント増)、『小売』(同12.6ポイント増)、『サービス』(同8.7ポイント増)が大きく改善したのに比べ、『建設』(同4.2ポイント増)、『卸売』(同3.7ポイント増)、『運輸・倉庫』(同0.7ポイント増)などは伸び悩んだ。

高知は『小売』や『サービス』関連で特に「大企業」に比べ「中小企業」が多いため、規模別の改善幅に格差が現れたと考えられる。

2010年度はNHK大河ドラマ『龍馬伝』のヒットにより県内の観光業界が好調であった。日銀高知支店(2011

全国・四国との比較

	2009年度	2010年度	前年比
高知	27.5	34.8	7.3
四国	26.1	32.8	6.7
全国	24.1	32.6	8.5
格差(高知-全国)	3.4	2.2	-1.2
格差(高知-四国)	1.4	2.0	0.6

高知 規模別・業界別

	2009年度	2010年度	前年比
大企業	34.0	35.7	1.7
中小企業	27.0	34.7	7.7
小規模企業	25.4	33.0	7.6
格差(大企業-中小企業)	7.0	1.0	-6.0
建設	31.9	36.1	4.2
製造	26.3	36.1	9.8
卸売	28.1	31.8	3.7
小売	21.6	34.2	12.6
運輸・倉庫	27.5	28.2	0.7
サービス	28.0	36.7	8.7

2010年度は2010年4月～2011年3月の平均
2009年度は2009年4月～2010年3月の平均

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および無断引用を固く禁じます。

年2月1日発表)によると、『龍馬伝』の経済波及効果は535億円とされており、県内の旅館やホテルなどの宿泊施設や飲食業、観光施設が恩恵を受けたことで『サービス』が大きく改善した。また、土産物や特産品などの関連商材も好調だったことで『製造』や『小売』なども大幅に改善した。

東日本大震災の影響

2011年5月調査の高知の景気DIは、前月比0.3ポイント増の34.8となり3カ月ぶりに改善した。全国(31.4)、『四国』(34.4)とともに上回ったものの、震災前(2011年2月:36.7)を1.9ポイント下回っている。

高知 2011年5月調査

	2011年2月	3月	4月	5月	前月比	震災前比較 (5月-2月)
全体	36.7	35.7	34.5	34.8	0.3	-1.9
大企業	38.1	40.5	30.6	31.0	0.4	-7.1
中小企業	36.5	35.0	35.0	35.3	0.3	-1.2
小規模企業	32.1	36.7	27.4	29.8	2.4	-2.3
格差(大企業-中小企業)	1.6	5.5	-4.4	-4.3	0.1	-5.9
建設	44.4	38.9	35.2	28.3	-6.9	-16.1
製造	34.3	38.6	35.1	40.7	5.6	6.4
卸売	33.3	31.9	33.3	31.6	-1.5	-1.5
小売	38.9	33.3	26.7	33.3	6.6	-5.6
運輸・倉庫	29.2	29.2	20.8	27.6	7.0	-1.4
サービス	42.9	35.7	47.6	35.7	-11.9	-7.2
四国	35.2	34.1	33.7	34.4	0.7	-0.8
全国	35.4	31.6	30.4	31.4	1.0	-4.0

規模別では「大企業」が前月比0.4ポイント増の31.0、「中小企業」は同0.3ポイント増の35.3とともに小幅な改善にとどまった。「小規模企業」は同2.4ポイント増の29.8と大きく改善したものの30を下回る水準が続いている。震災前との比較では「中小企業」が1.2ポイント減にとどまっているのに対して「大企業」が7.1ポイント減と回復が遅れている。

業界別では、震災の影響でティッシュやトイレットペーパーなどの需要が増加している影響で『製造』が大きく改善。『小売』『運輸・倉庫』も大幅に改善した。一方、『建設』『サービス』は大幅に悪化した。震災前との比較では、震災直後の資材不足や公共事業の削減が続くなか、被災地の復興が優先され県内公共事業が大幅に減少するとの懸念もあり『建設』が突出して悪化した。

高知でも東日本大震災の直接的な被害が発生している。農林水産省が発表した『東日本大震災について～東北地方太平洋沖地震の被害と対応～』によると、高知で現在報告(2011年5月31日)されている水産関連の被害額は漁船1,400万円、養殖施設被害2億300万円、養殖物被害23億7,700万円、林野関係では木材加工・流通施設で300万円となっている。農産物では、微量の放射能が検出され注文がキャンセルされるなどの被害も発生しており、第一次産業就業者比率が全国第3位(出典:平成17年国勢調査)と高い高知県では大きな問題となる可能性がある。

消費者の自粛ムードも拭いきれていないなか、前年度の『龍馬伝』のような好材料は少なく、放射能汚染問題による外国人観光客の減少や高速道路のETC割引、無料化実験の凍結など観光産業を中心に懸念材料は山積している。夏以降は全国的な復興需要の高まりで『製造』などに改善が見込まれるものの、原材料価格の高騰や県内の公共工事が減少するなど先行きに対する不安材料は多く、景気は一時的に停滞する可能性もある。

(産業調査部 経済動向研究チーム K.N)

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および無断引用を固く禁じます。